

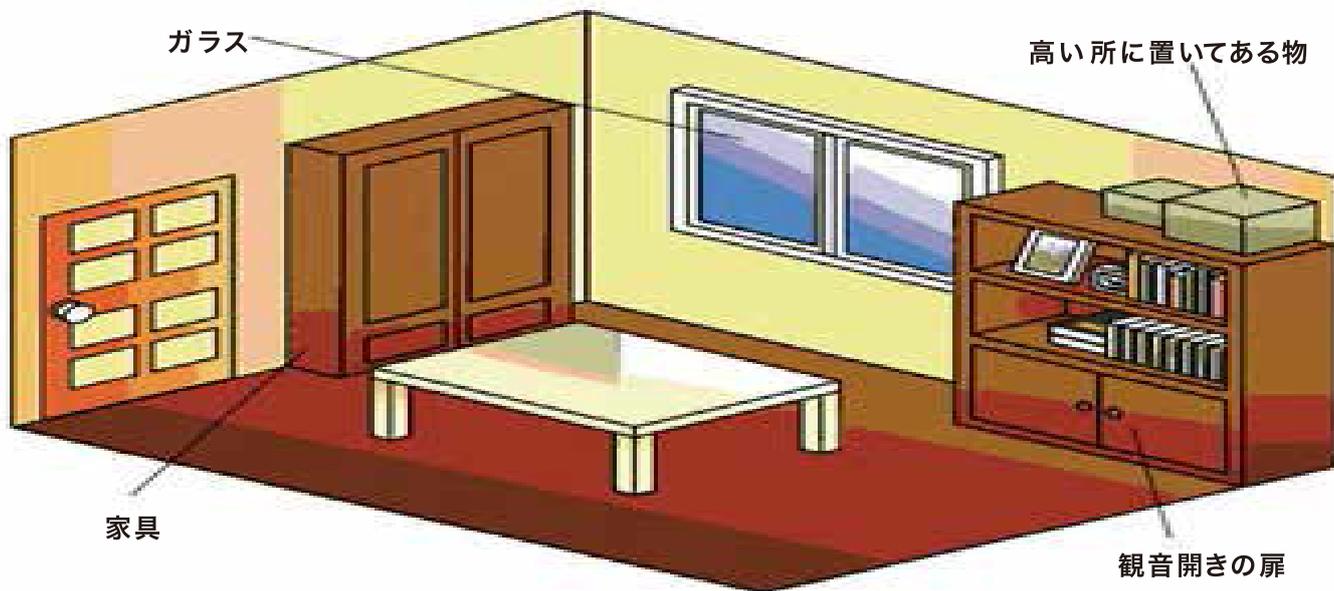
地震の対策

一般的に、震度一は屋内にいる一部の人がわずかな揺れを感じる程度です。震度二で照明器具などが揺れ出し、震度三で食器などがカタカタと音を立て、震度四で座りの悪い置物が倒れます。震度五以上では食器類や本が落ちたり、テレビ、たんすなどが倒れてくるといいます。地震はいつ発生するのかが分からないだけに、日ごろから万が一に備えて対策を立てておくことが大切です。

用意するもの
飛散防止フィルム
霧吹き
セロハンテープ

定規
カッターナイフ
台所用洗剤
ゴムベラ

(後半のガラス飛散防止対策の時に使います)



家の中の危険

■ガラスの飛散防止

窓ガラス、食器棚などに飛散防止フィルムを貼っておくと、ガラスの飛び散りを防ぐことができます。フィルムは両面に貼るのがベストですが、片面のみの場合はガラス片が落ちては困る室内側に貼ります。

■飛び出し防止対策

観音開きの食器棚や書棚には扉ストッパーを取り付けます。揺れても扉が開きません。

■揺れによる落下防止

高い所に物を置くときはすべり止めを付けておくなどの工夫が必要です。

■家具の転倒防止

家具や壁に穴を開けたくない場合は耐震突っ張りポールなどを使いましょう。耐震突っ張りポールは合板をあてがってからポールを突っ張ると、縦揺れにも強くなります。

Howto^{なび}

動画でもっとわかりやすく!
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。

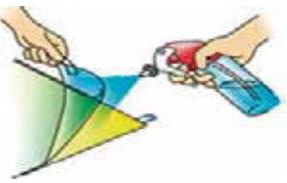


How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



次ページへ▶▶

<p>1 下準備</p>  <p>ガラスに洗剤入りの水を吹き付けます。</p> <p>あらかじめ、シートを張る面はガラス用洗剤で汚れをふき取っておきましょう。それから台所用液体洗剤を1、2滴入れた水を全面に薄くスプレーします。</p>	<p>2 フィルムを張る</p>  <p>フィルム同士がくっつくと使えないので、粘着面に水をスプレーしつつ、裏面</p> <p>フィルムをはがしていきます。シートは上の方から貼っていきます。濡れているうちであれば貼り直しが可能です。</p>	<p>3 空気抜き</p>  <p>作業をする前に、フィルム表面に霧吹きするとゴムベラでこすった</p> <p>時に傷が付きにくくなります。上図のようにゴムベラを動かし、シートとガラスの間の水や空気を追い出します。</p>
<p>4 余分を切り取る</p>  <p>棚のガラス枠よりも2mm程内側でカットします。切る時は、カッターの刃は離さずに定規をスライドさせて切っていきましょう。</p>	<p>5 仕上げ</p>  <p>もう一度シートの上から水をスプレーして気泡をゴムベラでしごき出します。</p> <p>シートが乾燥するまではズレやシワになりやすいので、表面を拭いたりこすったりしないよう注意してください。</p>	

